《園長の言葉》

令和5年度 認定子ども園竜光保育園 第703号

新しい年の始まりです。本年も宜しくお願い致します。コロナがようやくひと段落しての久方ぶりの平穏なお正月と思っていた矢先に起 きた、能登半島を震源とする大地震に多くの方々が呆然としたのではないでしょうか。被災された地域に対してお悔やみを述べると共に1 日でも早い復興、とりわけ小さな子どもたちの笑顔が少しでも早く戻る事を唯々願うばかりです。

さて、今年の干支はご存じの通り竜(龍、辰)であり、当園の園名にも一文字ある事で何かしらテンションも上がってきます。それはさて おき、十二支の中で唯一空想上の生き物が龍であり、干支のルーツである中国では、龍をイメージ(空想)する事で社会や人間などの力強い パワーや隆盛の象徴ともしたそうですが、この「空想する」という体験が特に幼児期の子どもたちにとっては大切な事だそうで、空想力が 様々な能力を育んでくれると聞きます。スポーツ選手が近年、目標を達成するためにイメージトレーニングを取り入れているように、子ど もたちにとってもそれは有効で、例えば、絵本を読み自身が様々な人物(時には動物等にも)になった状態を空想する事で、立場・状況によ ってそれぞれ感じ方も違うのだという事を自然と覚え、他者に対しての思いやりの気持ちが芽生える事もあるでしょう。また、発表会など で最後までしっかりと演じきり、拍手喝采されているシーンを子どもたちが何度もイメージすることで、本番での緊張もほぐれ、上手に演 じることもできるのではないでしょうか。今後、こどもたちが成長の過程で必ず遭遇するであろう学業や人間関係における困難な壁に対し て、イメージ(空想)力を育み豊かにすることで、柔軟に対応するすべが自然と身に着いていくのではないかと思います。

年長組さんは、卒園まで残り3ヵ月となりましたが、まだまだ音楽祭をはじめ様々な行事が目白押しです。練習も大切ですが、子どもた ちに上手く出来た場面をイメージさせ、少しでもモチベーションが上がっていくような声かけ等を適宜行い、達成感を伴った楽しい思い出 として残るように職員一同、寄り添っていきたいと思います。



1月4日(木): 始園 合同礼拝

11日(木):ダンス教室

13 日(土): 英語教室

15 日(月):音楽祭 DVD 撮影(桜組)

:身体測定(未満児)

16日(火):竜光のんの広場

:身体測定(以上児)

17日(水):避難訓練

22日(月)~26日(金):かるた会週間

23 日(火):体操教室 25 日(木):誕生会

27日(土):英語教室

☆2/11(日):北九州幼児音楽祭(桜組参加)

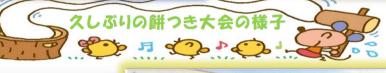
☆2/17(土):保育参観(予定)



会での出し物 は、バラエテ ィーゆたかで 子どもたちは いつも大喜び







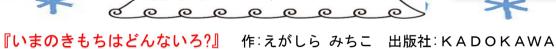












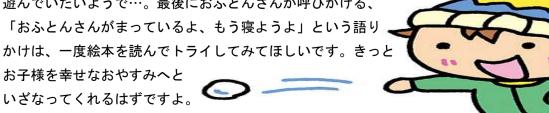
小さなお子さんや自分の感情を上手く言葉にできない子どもたちの気持ちを知ることはとても難しく、 子どもたち自身も悩んでいます。そんな時、「色や音で気持ちを表現できるのだよ。同じ物事でも感じ方 は人それぞれ違うんだよ。」と教えてくれる、子どもたちの"心の声"を引き出す絵本です。子どもたち への寄り添い方の一つのヒントとなるのではと思います。



『おふとんさんがまってるよ』 作:植垣 歩子 出版社:Gakken

子どもの寝かしつけに悩んでいた作者の体験から生まれた絵本だそうです。まだ寝たく ないと言うお子さんに、ぬいぐるみのウサギさんや枕さんが呼びかけにきますがまだまだ 遊んでいたいようで…。最後におふとんさんが呼びかける、

「おふとんさんがまっているよ、もう寝ようよ」という語り かけは、一度絵本を読んでトライしてみてほしいです。きっと お子様を幸せなおやすみへと





保護者会













